

4

骨粗しょう症検診

1 概 要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定した。

2] 判定基準

		異常認めず	要 指 導	要 精 検
音響的骨評価値 ($\times 10^6$)	男	2.630以上	2.351～2.629	2.351未満
	女	2.428以上	2.158～2.427	2.158未満

2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要 指 導 (%)	要 精 検 (%)
男	19歳以下	4	4 (100.0)	0 (0.0)
	20～24歳	6	6 (100.0)	0 (0.0)
	25～29歳	9	5 (55.6)	4 (44.4)
	30～34歳	7	5 (71.4)	2 (28.6)
	35～39歳	7	5 (71.4)	2 (28.6)
	40～44歳	6	3 (50.0)	1 (16.7)
	45～49歳	11	5 (45.5)	4 (36.4)
	50～54歳	8	4 (50.0)	3 (37.5)
	55～59歳	13	2 (15.4)	6 (46.2)
	60歳以上	24	8 (33.3)	8 (33.3)
計	95	47 (49.5)	30 (31.6)	18 (18.9)
女	19歳以下	0	-	-
	20～24歳	8	8 (100.0)	0 (0.0)
	25～29歳	8	7 (87.5)	1 (12.5)
	30～34歳	10	9 (90.0)	1 (10.0)
	35～39歳	9	7 (77.8)	2 (22.2)
	40～44歳	20	16 (80.0)	3 (15.0)
	45～49歳	31	26 (83.9)	4 (12.9)
	50～54歳	36	25 (69.4)	6 (16.7)
	55～59歳	52	22 (42.3)	20 (38.5)
	60歳以上	116	34 (29.3)	54 (46.6)
計	290	154 (53.1)	91 (31.4)	45 (15.5)
総 数	385	201 (52.2)	121 (31.4)	63 (16.4)